

## 「おきなわ国際協力・交流フェスティバル 2019」を開催しました！

開催 24 回目を迎える今年は、「SDGs（※）沖縄発 みんなの取り組み」をテーマとし、11月2日（土）、3日（日）の2日間に6,153名もの方々にご来場いただきました！

※SDGs（持続可能な開発目標）：国連で採択された先進国・途上国にまたがるグローバルな課題の達成目標

初日のオープニングセレモニーでは、多くのご来賓にお越しいただき、世界約40か国から来た100名のJICA研修員による「島人ぬ宝」の合唱が行われ、フェスティバルの幕が盛大に開きました！

（研修員の皆さんは沖縄も日本語の歌も大好きになり、この日は3番まで歌い切りました！）



会場入口は、今年のテーマ SDGs に絡めて、JICA ブースでは、各国の SDGs の状況が一目で分かる電光ボードや、SDGs の 17 のゴールを狙うストラックアウトなど、楽しみながら学ぶコーナーを設けました。



国際協力・交流に係わる県内 27 の団体・学校の展示スペースでも、SDGs を取り扱った写真・ポスター展示や、体験型の活動紹介が行われました。

現在、SDGs は、県内の自治体、企業、学校等でも広がってきていることもあり、いずれも大盛況でした。

来場者アンケートでも、「沖縄でもこんなに多くの人が国際協力・交流に関わっていたことを知らなかった。誇りに思うとともに、自分も何かしてみたい」という声や、SDGs に関して、「非常に勉強になった」、「沖縄もすごく貢献しているんだ」などの意見をいただきました。



JICA 研修員との交流ブースでは、地域別に各国の衣装をまとい、映像や物品を展示して紹介を行い、来場者と交流を楽しみました。アンケートからは、「各国の人と交流できてよかった」、「毎年楽しみにしている」など好評をいただきました。



イベントでは、民族衣装のファッションショーや、タンザニアの油絵ティンガティンガ作成、世界のウチナーンチュや沖縄県の先生が訪れたラオスを紹介する参加型のワークショップ、世界のお話し会、バリ舞踊、ベリーダンスなどの各国の伝統文化と触れ合う機会を提供しました。



フィナーレを飾る JICA 研修員による「世界の歌と踊り」では、会場を巻き込んで大変に盛り上がりました。毎年披露される大洋州の研修員よる「ハカ」という踊りは、今年ラグビー・ワールドカップが日本で開催されたことから、良く知られるようになりました。



世界の食体験では、OIC 食堂でのbuffetやエスニック料理の屋台が盛況でしたが、屋台数が少なかったという意見をいただきましたので、来年は改善できるようにしたいと思います。



高校生・大学生による運営ボランティアは、昨年の1.5倍増の125名もの皆さんにご協力いただきました。応募多数で止む無くお断りした方には、誠に申し訳ありませんでした。皆さんの「即戦力」には圧倒されました。また、来場者からも「会場が明るく元気な雰囲気」、「学生も学べて良い取り組み」との評価をいただいております。ご協力に厚く御礼を申し上げます。



玉城デニー知事がサプライズでお越しになり、会場内を 1 時間掛けてゆっくりとご覧になりました。JICA 研修員や高校生・大学生ボランティアと話したり、参加者とダンスをされたり、楽しく交流いただきました。

お帰りの際、JICA ブースの SDGs コーナーで、「未来へのメッセージ」をお書きいただきました。



以上、フェスティバルを撮影した動画は JICA 沖縄の YouTube にアップしていますので、是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/user/jicaokinawa>